

栄公園振興株式会社
経営戦略計画

平成29年4月～平成34年3月

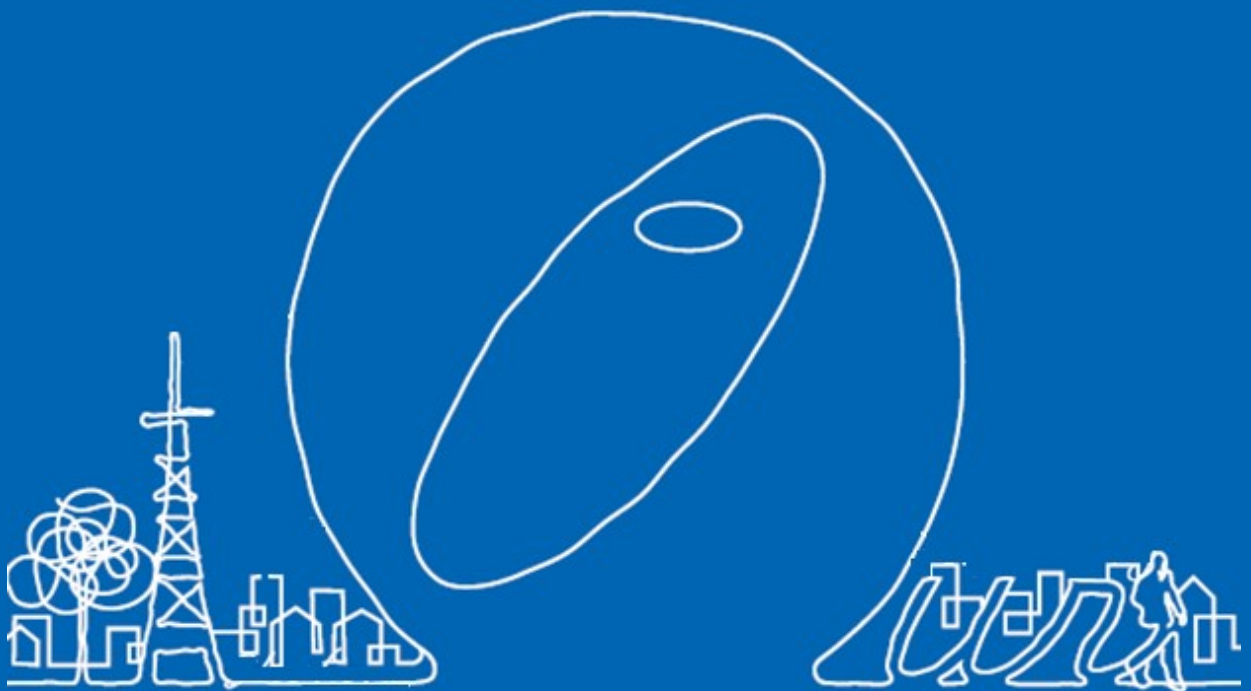
～ オアシス21の沿革 ～

栄公園振興株式会社は、新たな魅力・賑わいの創出と交通利便性の向上により都心のシンボルゾーンを形成するため、栄公園地区の広場ゾーン(オアシス21)における公園の便益施設である店舗の建設と管理運営、公園やバスターミナルと一体的な管理などを行う事業主体として、平成6年9月に、名古屋市と地元経済界との共同出資によって設立されました。

平成14年10月の開業以来、当社では、幅広い年代の方々に親しんでいただける魅力ある店舗を常に揃え、音楽・スポーツ・娯楽等の多彩なイベントを企画・運営し、また、オアシス21を一体的に安全で安心してご利用いただける施設として質の高い管理をすることで、魅力ある都市空間づくりや都心の活性化に寄与しています。

《 経営ビジョン 》

栄公園振興株式会社は
都会のオアシスとして、訪れるすべての方が
安全・安心で、憩い、ふれあい、楽しむことができる
“栄一の快適空間”を目指し、栄地区の発展に貢献します。



1 経営戦略計画の策定

栄公園振興株式会社（以下、「当社」という。）は、平成23年度から平成25年度まで、及び平成26年度から平成28年度までのそれぞれ3年間、経営戦略計画を策定し、様々な取り組みを行ってきました。

当社がおかれる現状と、今後の社会状況の変化を踏まえ、なお一層の経営基盤の強化を図るため、平成29年度の開業15周年、また、平成34年度の開業20周年を見据え、このたび5年間の経営戦略計画を策定いたしました。

2 経営戦略方針

“栄一の快適空間”を経営ビジョンと位置づけ、次の4点を経営戦略方針と定めます。

① 安全・安心・快適を最優先にした施設管理

店舗・イベント会場・公園・バスターミナルなどの利用者が安全・安心・快適に利用できることを最優先とした施設管理を行います。

② 三方良しの精神による経営基盤の確立

施設利用者・店舗等関係者・当社の3者それぞれが満足できる経営を目指し、さらに収入を増加し、コスト削減を図ることで、会社の経営基盤を強固なものにします。

③ 社員のモチベーションの高い組織基盤の確立

当社の目指す目標の理解・実践を図るため、経営会議での決定事項を全社員が共有すると共に、風通しの良い職場づくりと人材育成を強化していくことで、社員のモチベーションの高い組織基盤を確立します。

④ 地域への貢献

近隣施設との連携や当社独自の地域活動を図ることで、栄地区の賑わいに貢献します。

3 事業概要

(1) 施設の管理

名古屋市から指定管理者の指定を受け、久屋大通公園の公園施設及び名古屋市栄バスターミナルについて、当社所有の商業施設と一体的な管理運営を行っています。

(2) 店舗の管理運営

地下広場に面した全30区画の店舗及びバスターミナル階において、物販・飲食・サービスの魅力ある店舗を展開しています。

(3) イベントの企画・運営

地下の「銀河の広場」において、施設の特徴を最大限に活かした音楽、スポーツ、娯楽等イベントの企画・開催や、イベント会場の貸し出しを行うことにより、都心の賑わいの創出を図っています。

(4) 地域への貢献

名古屋市が進める栄地区グランドビジョンの実現に向けた久屋大通再生への取り組みに関して、栄北地区の地下街との連携交流に主体的に取り組むなど、近隣施設と一体となって積極的に参加していくことで、栄地区の活性化に貢献します。

4 計画期間

平成29年4月から平成34年3月までの5年間とします。

5 現状と課題・経営戦略目標

区分	方針	[現状]	《課題》	経営戦略目標
I. 公共サービスの充実	【①施設管理】	施設の老朽化 施設管理経費の増加 施設の長時間稼働	計画修繕の確立 施設リニューアルの進め方	A 市との協議により適切な管理経費を確保し、計画修繕を確実に実施 B 開業20周年に向けた施設リニューアル実施 C 近隣施設と一体となった連携、交流活動の推進
	【④地域貢献】	久屋大通発展会等の地域活動への参加 市主導による久屋大通再生への取り組み	近隣施設と一体となった連携交流への取り組み	
II. 財務内容の改善・向上	【②経営収支の向上】	物販空き店舗期間の長期化	後継店舗の早期補充 稼ぐシステムの構築	D 店舗入居の促進 E 経常利益の着実な計上 F 稼ぐシステムの確立
III. 効率性の発揮と成果		施設内環境デザインの陳腐化 年間来場者数の伸び悩み	情報発信手段の多様化 集客力の向上	
IV. 人材力・現場力の強化	【③組織基盤の確立】	技術系社員の高齢化 コンプライアンス推進計画の実践 前例踏襲的な仕事の進め方	人材の確保 コンプライアンス意識の徹底 業務改善意識の向上	I 人材の確保と育成 J コンプライアンス体制の強化 K 業務改善への取り組みの推進

6-I-II 個々の取り組みと成果指標

I. 公共サービスの充実

経営 戦略 目標	取組項目 所管課	概要・目標等 【成果指標】	5ヶ年スケジュール							
			H29	H30	H31	H32	H33			
A	施設全体における劣化対応 管理課	中長期保全計画の策定と着実な実施 【平成31年度以降計画実施】								
B	施設のリニューアル実施 事業推進課	リニューアル計画の策定と着実な実施 【平成34年度実施完了】								
C	近隣施設との事業連携 事業推進課	近隣施設と一体となった連携・交流活動の実施 【年間4件以上】								

II. 財務内容の改善・向上

経営 戦略 目標	取組項目 所管課	概要・目標等 【成果指標】	5ヶ年スケジュール							
			H29	H30	H31	H32	H33			
D	後継店舗の早期補充 事業推進課	コンサルタントの活用による店舗の補充 【入居率100%】								
E	経常黒字の確保 全課	リニューアルへの投資を見込む中での黒字経営 【5ヶ年度累計経常利益3,500万円確保】								
F	企業協賛など広告収入確保 事業推進課	自主企画イベントに対する協賛金の確保 【年間50万円確保】								

6-Ⅲ.Ⅳ 個々の取り組みと成果指標

Ⅲ. 効率性の発揮と成果

経営戦略目標	取組項目 所管課	概要・目標等 【成果指標】	5ヶ年スケジュール				
			H29	H30	H31	H32	H33
G	環境メディアの設置 事業推進課	施設来場者への情報発信力向上 【平成33年度 設置台数2台】					
	集客力のあるイベントの開催 事業推進課	イベント内容の高質化による銀河の広場来場者数の増加 【平成33年度銀河の広場来場者数1,400万人】					
H	公式サイト利用促進 事業推進課	ウェブサイトのアクセス件数の増加 【平成33年度330万件】					

Ⅳ. 人材力・現場力の強化

経営戦略目標	取組項目 所管課	概要・目標等 【成果指標】	5ヶ年スケジュール				
			H29	H30	H31	H32	H33
I	技術系社員の確保 総務課	施設管理部門の人員確保による安全安心の徹底 【平成31年度以降 新規社員1名採用】					
J	コンプライアンス推進計画の実践 全課	毎年度取組項目を設定 【項目達成率100%】					
K	提案制度の推進 全課	制度活用による業務改善 【毎年個人3件提案】 【毎年各課1件提案】					

~COMPANY PROFILE~

社 名 栄公園振興株式会社
所在地 〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目11番1号
設立年月日 平成6年9月30日
代表取締役社長 前田 健
資本金 15億円
株 主 名古屋市（出資割合 52.5%）他 23社
U R L <https://www.sakaepark.co.jp/>

